

2019 年 年頭所感

日本オーディオ協会 会長 小川理子

明けましておめでとうございます。

旧年中は日本オーディオ協会に格別なるご高承を賜り、心より感謝を申し上げます。

今年は平成の世から、新しい時代の幕開けとなる記念すべき年でもあり、当協会も新しい時代とともに、よりいっそうの発展を祈念して取り組んでいく所存です。

世界に目を転じれば、技術の進化は、AI、IoT、と留まる気配はなく、デジタルイゼーションがもたらす社会の変化のスピードや様々なイノベーション、世界各地の政治経済の不透明さも相まって、私たちを取り巻く環境は決して安泰とは言えませんが、日本はこれまで蓄積されてきた技術や知見を活かし、独自のきめ細やかな感性で探求し、変化に適応し、持続可能な社会を実現していく可能性は無限にあると思います。

日本オーディオ協会では、この数年間をかけてハイレゾの普及と基盤確立に努めてまいりました。皆様方の多大なるご協力により、現在、順調に進捗している状況です。今年度はパーソナルオーディオも含めてさらなる拡大を目指します。

また、デジタルネットワークオーディオの進展とともに、アナログオーディオも近年非常に伸長しています。若い方々も興味を示しており、先日、某大学の 1、2 年生を対象にキャリア教育の授業をしていたところ、1 人の女子学生から、自分の好きな男性歌手のアナログレコードを買った、どのようにしていい音で聴けばいいのか、という質問を受けました。オーディオの多様性を改めて認識した次第です。

私たち日本オーディオ協会は、このように次世代に対しても、より豊かな感性価値を伝え続けなければいけないと思います。

昨年 6 月に、前会長から引き継ぎをさせていただき、新体制での新たな一歩を踏み出しました。

今年の OTOTEN も明るいオーディオの未来をテーマに盛り上げてまいります。

今年度も、ご支援ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。